

第 2565 回例会 2016 年 10 月 5 日 (水) | SAA (司会) / 杉井会員 会報担当 / 平野会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄
- ソング 君が代 奉仕の理想 4 つのテスト
- お客様 いらっしゃいませでした
- 会長挨拶 市原 RC 会長 西村芳雄



皆さん、こんにちは。

日本人には凄い人が多いですね。今年のリオ・オリンピックでの日本選手の活躍そしてメダリストの数にも驚かされましたが、またしても、です。皆さんご承知のように、今年もノーベル賞受賞者が出ました。3年連続で25人目です。東京工業大学の大隅教授が生理学部門での受賞です。「オートファジー」の解明とのことで、私は門外漢なのでチンプンカンプンですが、医学の分野で早く実用化されればと思っています。と言いますのは、私、とみに物忘れが多くなってきておりますので、健忘症に効果ある薬が出来るのではと期待しているからです。この教授は、「人のやらないことを地道にやってきた結果だ。」と言ってられます。なかなか出来ません。また、私が願うことは、日本の将来の景気浮揚のためにも、産学共同で、あるいは政府が研究開発資金をもっともっと拠出して欲しいということです。安倍総理の評価も高いですが、もっと高くなると思います。

ところで、私が会長職を拝命してから第2四半期に入りました。早くもなのか、或いはやっとなのか、私は本当に複雑な心境です。今までの勉強不足が祟りミスリードが多く、後悔ばかりしております。今後も時間の許す限り色々な勉強会などに参加しロータリーの勉強をしていきます。そしてまた、会員の皆様に色々ご指導ご鞭撻を賜りながら精一杯頑張っていきます。宜しくお願い致します。

さて、クラブ細則改訂についてです。この件につきましては、8月31日例会場にて会員の皆様に修正案を提示しご意見を承りました。そのご意見などを参考に委員会を適宜開催し、修正に修正を重ねて参りました。そして、去る3日に10回目の委員会が開催され最終案を作成し

ました。大きな改正点は、先日平野会員が説明しました点と重複する箇所もありますが、先ず、役員・理事の選任などの理事会についてです。次に例会日数を月2回以上としました。それにより、年会費を現行24万円から18万円にしました。この減額したことによりプライマリーバランスが保たれるかどうかをシュミレーションしたのですが、少し厳しい状況ですので、歳出の見直しと会員増強が必須となります。また、委員会については五大奉仕委員会のみ常設とし、その他の委員会は理事会の決定により設けることができるとしました。この細則案が本日の理事会に上程され可決されましたので報告致します。この細則修正案を会員の皆様に提示し、現細則第12条に則りクラブ例会にて採決することになります。宜しくお願いします。

そして、今月は米山月間です。この米山奨学会は、年700人ほどの奨学生を募っており、民間最大の規模です。この米山記念奨学会やロータリー財団にしましても、その活動資金は会員の皆さんの浄財で運営されております。ご協力をお願い致します。

ところで、10月から12月にかけては、ガバナーの公式訪問やガバナー補佐の来会あるいは市原中央ロータリークラブとの合同例会などいろいろと行事があります。会員の皆様も仕事の関係などで忙しい事とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご参加を頂きたいお願い致します。本日、この件につきましては、お願いも兼ねました文書を、会員の皆さんにメール等にてお知らせ致します。

そして、本日のメインプログラムは、お二方の卓話です。お一人は、結婚・誕生月の会員を代表して川島会員です。川島会員ならではの、どのような秘話が聞けるのか楽しみです。そして、お二人目は、今年入会されました野口会員です。職業は司法書士ですので、難しい国家試験(昨年度の合格率は4%弱)に合格されておられますので頭脳明晰の方とは推察されます。今日は、そのような事から、そして職業上の裏話などについても話をされるのか、これまた興味津々です。後程、お二方には宜しくお願い致します。以上、会長挨拶とします。



★ロータリー米山記念奨学会メジャードナーとして白鳥会員が表彰されました。

委員会報告等

始関社会奉仕小委員長 地域貢献基金で採択されたNPO 法人知的コミュニケーション研究機関連合に行ってきました。市原市内、市川、船橋から多くの方がいらしてました。粘菌について勉強してきました。始関クラブ研修リーダー ポリオ最後の戦い パキスタンポリオ戦う。ロータリーの友をご参照ください。

本日のメインプログラム

誕生祝い卓話／川島会員



「老うる事の憂鬱」

先月は西村美和子さんが、卓話で高齢になり、と言うお話をされました

小生も当月23日に無事74歳の誕生日を迎える事に成り、いよいよ来年は75歳、後期高齢者の仲間入りです。性格で静かにしておく事ができないので、死ぬまで何かをしているのだろうと思っています。最近では東京都の豊洲問題等、その他多々、責任回避的な話が多く、時々TVを見ることも、切なくなる時が有ります。経済至上主義の欠陥と言うか、マニアル化社会の欠陥なのか、誰も責任を取らない事が多くなりました、ちなみに私は

昭和17年生まれ、終戦の年に3歳でした、家には風呂も水も無い、そんな貸家で、東京からの焼け出されを含めて3家族が同居生活をしていました。しかし今振り返ると、その頃のほうが精神的に、ある意味幸せであったと感じています。近所のおじさん叔母さんに、もらい風呂で世話になり、近所の子供たちは名前を含めて全てが家族でした、又支えあって生きていました。大きい子は必然的に小さな子供の面倒を見、おもちゃなどは無いので遊び方、遊び道具を考える知恵がつかしました、又皆同居する事で互いが忍耐する事を覚えました。こんな生活から早く脱皮したいと、皆が努力しそして経済成長、しかし年寄りの冷や水とと思っていただいて結構ですが、この幸せな時間は果たして続くのでしょうか、私はそうは思いません、野村総研の2030年プロジェクトを先日ある講演会で聞きました。

2030年に向けての模索です。日本の人口は約8000万人となります当然税収は2割以上減る事に成ります。ちなみに終戦から4年後の昭和24年当時とはほぼ同一の人口です。お金さえあればアメリカ大統領にもなれる。いつ皆が気づき、この経済至上主義から脱皮して、子供たち、孫たちの次の世代、現在と同様な幸福な生活を送れることを祈り、我々に何が出来るのか、最後の人生を考え直したいと思いま

す。物から事への回帰 思いやりの気持ちと、心の時代が訪れることを節に希望して。老人の他愛ごと・・・

本日のメインプログラム

新入会員卓話／野口会員

みなさま、こんにちは。

長田社長からの紹介で今年の7月に入会させていただきました、野口貴史です。

今回は、「新入会員卓話」の機会を頂きまして、ありがとうございます。普段は、仕事上でもあまり、大勢の人前で話すことはもちろんのこと、マイクを使って話すことさえ慣れておりませんので、今とても緊張しております、もしお聞き苦しい点などがありましたら、ご容赦いただければ幸いです。

さて、貴重な卓話の機会を頂けると宮武小委員長から伺い、日程



が決まった時から、何を話そうかと悩んでおりましたが、初回ですので、自己紹介をさせていただき、私のことを少しでも知っていただけたらと思います。

★独立にいたるまで。

私は、昭和60年1月の早生まれで、現在31歳となります。ちょうど30歳を迎えた時に、司法書士として独立しようと決意し、今年の4月に市原市五井西にあります実家の一室を、事務所として改装し、開業いたしました。早、1年と半年が経ちましたが、日々、お客様やお取引先の皆様のお力に支えられながら、順調なスタートをきって歩んでおります。

私は、生まれも育ちも市原市でして、幼少期より父親の仕事の都合もありながら、能満→辰巳台→五井→五井西と市内を転々と移り住んできました。今は、私も結婚を機に引っ越しましたが、事務所と同じく五井西地区で生活しております。

小・中学校は、若葉小・若葉中学区で、当時は勉強よりも部活動、小学4年生から少年野球を始め、中学校でも野球部に所属しておりました。今でも、頻度は少ないながらも、仕事仲間と草野球チームを作って活動するほどの野球好きです。

中学卒業後は、県立木更津高校に進学しました。けがの影響とその後の進路のことを考え、硬式野球の道には進みませんでしたが、バドミントン部に所属し、3年間、やはり勉強よりも部活中心の学生生活でした。

高校卒業後、現役で東洋大学法学部に進学し、4年間の大学生生活を過ごしました。大学生生活も振り返ってみると、アルバイトやゼミ活動の思い出が強く、机に向かって一生懸命に勉強しましたとは、とても言えません。

このような私が、なぜ司法書士を目指すかにいたったのは、大学3年生、埼玉の郊外のキャンパスからようやく都内のキャンパスに通えるようになってまもなく、すぐに就職活動の声が聞こえはじめ、そろそろ本格的に卒業後の進路を検討しなくてはいけなくなったときです。高校生の頃から、小説などの影響を受け、法律職っていいな、人の役に立てて、やりがいがありそうだというイメージは持っていて、それが大学の学部を選ぶきっかけとなっていました。その反面、自分の性格的に、裁判などの争いごとに関与していくことなどは、想像もできませんでした。

その中で、悩み考えた結果、司法書士・行政書士という資格を知るにいたり、「予防法務」というキーワードに共感を覚えながら、勉強を始めたのがスタートラインです。始めた頃は、登記の「と」の字も知るわけもなく、想像すらできない世界でしたが、知るうちに楽しみとやりがいを感じ、大学卒業後は、新卒での就職ではなく、ハローワークの求人情報をもとに、司法書士事務所への就職となりました。22歳で就職した千葉市内の事務所で、約4年の下積み経験を経て、26歳の頃に試験に合格。合格後さらに4年間、その事務所で資格登録し、奉公に励み、30歳で円満退職、独立開業にいたることとなります。

★司法書士の業務と対応について

次に、では実際に司法書士がどんな仕事をするのか、その概要をお話できればと思います。

司法書士の専門分野は、なんといっても登記につきます。その他の業務として、裁判所提出書類の作成、成年後見・遺産承継などの財産管理業務、または法改正により認められ、ちまたでも話題となる簡易裁判所での訴訟代理行為とこれに付随する和解交渉なども挙げられますが、この中でもやはり司法書士としての力を一番に発揮できるのが、登記分野であります。

私自身も、この登記業務が依頼の大部分を占め、不動産登記65%・商業法人登記20%・その他の遺言や裁判書類作成などの業務が残りの15%というような内訳となっております。

登記には、不動産登記と商業・法人登記とがあり、法務局を受付窓口として申請手続の代理や各相談を受けております。

不動産登記であれば、例えば所有者は誰か・担保はどうなっているか、さまざまな権利関係が第三者に対しても明らかになるように公示する機能制度をもち、相続・贈与・売買・金銭の借入れなど、これらの手続の間に司法書士が入ることによって、それら登記簿の記録が一定の信頼性を帯びるものとなり、またそのために不動産の売買などの取引が円滑になる一翼を、こなしております。

また、商業・法人登記であれば、日本にはどのような会社があって、その組織体系はどうなっているか、いわば会社が第三者と取引をするときに、誰が当事者になるか、資本金がいくら積まれているか、責任の所在はどうなっているかなど、その会社の信頼性を保つ情報の一ツルとなり、設立から役員変更その他、会社の解散・合併に至るまで、会社の歴史を記録に残し、アップデートしていくサポートをしています。

これらの業務における私の強みの一部としては、依頼人のメリットを考えた制度利用の提案と会社・法人登記の知識・経験量だと思っております。一言に登記といっても、依頼人の思惑によって、選択肢が何通りにもわたり、取引事例や法改正への対応、税制度との関連に伴ってなど、さまざまな状況の中で、お客様・依頼人におけるベストの選択が異なります。その状況の中で、ベストの選択を判断して頂ける

ように、共に検討し、寄り添い型の相談を受けられるように、これまでの経験を生かし、さらにこれからもかかさずスキルアップに努めていきたいと考えております。

ここまで長々とお話させていただきましたが、最後に、私の座右の銘をお話して、自己紹介を終わりたいと思います。

開業以来、ずっと手帳に書きとめている四字熟語でもあり、それが「一期一会」です。

司法書士の仕事のほとんどは、直接の依頼人の方と継続して仕事をすることがありません。司法書士の立場から見れば、不動産の売買や相続にしても、会社の設立や解散にしても、日々行っており、場合によっては、1日に数件の売買を、時間を分けて携わることもあります。しかし、反対に各依頼人の立場から見れば、一生に一度行くか行わないかの重大なことであり、そこに私が立ち会えることは、非常に光栄なことだと思っております。そのような依頼人の方々が、数多くいる司法書士の中から私を選んでくれたことがベストであったと感じてもらえるように仕事をしていくのが務めだと考え、日々精進しております。

今回、そのような仕事をしている中で、長田社長から市原ロータリークラブに誘われ、加入させて頂き、こうして皆様とお会いできたことも、とても光栄なことだと思っております。

加入したてで不慣れな中でも、諸先輩方の暖かいご指導とご鞭撻を頂きながら、一クラブ会員として活動してまいりたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくご厚意申し上げます。

本日は、ありがとうございました。



上條会員

三木さん、誕生日おめでとうございます。伺いました所、傘寿との事です。これからもお元気で過ごして下さい。

白鳥会員

過日行われました第3分区Bの会長・幹事会にて、西村会長より登録料を負担して頂き、ありがとうございました。

川島会員

理屈いっぱい卓話を聞いて頂き有難う御座居ました。移動例会の23日は、小生の誕生日で子供、孫達が御祝いをしてくれるそうです。残念ながら欠席をさせていただきます。ニコ、ニコ

福原会員

10月は米山月間です。皆様のサイフの中の「キジ」をご寄附下さい。

野口会員

今日は、新入会員卓話の機会を頂き、ありがとうございました。

西村会長、岡本幹事

川島会員、野口会員、本日は卓話をして頂き、ありがとうございました。

加藤会員

長期欠席致しました。

■誕生祝 川島会員 三木会員 白鳥会員 高澤会員
梶内会員 小泉会員

■結婚祝 川島会員 山本会員 西村会長 万崎会員
三宅会員 本郷会員 杉原会員 山内会員

■出席報告 前々回確定 100% 本日出席 26名
欠席 14名 本日出席率 66.6%

■点 鐘 市原 RC 会長 西村芳雄